

歴代会長

初代	高橋 永雄 (1955～1966)	五代	高橋 実雄 (1977～1987)
二代	石塚 甚三 (1966～1967)	六代	西村 伊八 (1987～1988)
三代	小俣 僚 (1967～1969)	七代	高橋 秀三 (1988～2015)
四代	松本 圭一 (1969～1977)	八代	木村 康幸 (2015～現在)

組織

会 長	木村 康幸	婦人部部長	笹間 クニ	監 査	矢島 信幸
副 会 長	伊藤 照雄	婦人部副部長	澤村 由美子		高橋 将雄
	岩本 秀樹	会 計	高木 薫		
	小野 武		大橋 公子		

総務、環境、交通、防犯、防火、文化、広報各部 合計24名
町内を15ブロックに分け、各ブロックに常任理事1名と班（3～7）の班長により 回覧板及び配布物等の諸連絡を行っている。

町会の沿革

昭和21年頃沼袋には5000人を越える人口があり、住民全体で沼袋町会を形成していた。しかし進駐軍の命により、バス通りを挟み東西に分かれることになり、東の部分が現在の沼袋町会となった。
昭和30年当時、沼袋の名刹禅定院住職 橋永雄 初代会長を中心に、氷川神社宮司 小俣 僚氏を初め先人各位が沼袋に住民の為の自治活動を推進するために発足した。
現在は、禅定院・氷川神社・百観音明治寺・公園と緑豊かな住宅地域と駅を中心とした商業地域となっている。また、約3500所帯の内2200所帯が単身者というアパート・マンション等共同住宅が多いのも特徴で、現在の会員数は10年前の25パーセント減で1000所帯を切ってしまった。

主な活動及び課題

- ・防犯パトロール（週2回）
- ・春秋交通安全運動啓蒙活動
- ・防災訓練（毎年）
- ・夏期ラジオ体操（10日間）
- ・沼東子供と共に進む会と夏・秋・冬行事共催し子供の育成
- ・敬老祝品贈呈（75歳以上）
- ・新入学児祝品贈呈
- ・資源ごみ回収事業
- ・日赤・歳末助け合い募金活動に協力

2016年東京都及び中野区の助成にて防犯カメラを町会員の理解で8台設置することが出来た。
また、町会員の減少対策としてサポーター制度を導入し、活動を理解してもらう事、西武新宿線の地下化による高齢者の生活環境の変化（現在大手スーパー、銀行なし）が5年後、10年後に住みやすくなるかが町会員増減のキーポイントとなる。